

美しい猪名川を次世代へ



大島であい公園親水広場で魚取りを楽しむ子ども達

町では、清流猪名川を取り戻すために、住民・各種団体・事業者などと行政が連携を図り、「川と親しむ部会」「川と水と人の部会」「川づくり部会」「川ネット部会」の4つの部会を昨年3月に立ち上げました。現在、住民の皆さんが中心となり、猪名川に清流を取り戻し、魅力ある川にするための活動を行っています。

今回は各部会の部長であり清流猪名川を取り戻そう町民運動の実行委員である4人の皆さんと、この運動をサポートしていただいている「兵庫県立人と自然の博物館」研究員の藤本さんを招き、子どもの頃の川にまつわる思い出や猪名川への思い、またこれまでの活動や今後の取り組みについて町長と語っていただきました。



川ネット部会 部長 小川紀之さん

川ネット部会
運動を広めるための広報広聴や啓発活動を検討する部会。各部会と連携を図りながら、町民や他の市町村に対して、情報発信を行い、PR活動に取り組みます。

町長 新年あけましておめでとうございます。今日は清流猪名川を取り戻そう町民運動実行委員会の皆さんと、人と自然の博物館の藤本さんにお越しいただきました。



町長 真田保男

町長 新年あけましておめでとうございます。お忙しいところをお越しくださいました。猪名川町は自然を大切にしたいと考えています。清流猪名川を取り戻そう町民運動において、川のあるべき姿や川とは何なのかということからその利用方法も含め

子どもの水生生物が生き生きと暮らす猪名川を求めて



「こんな猪名川になってほしい」をテーマに173点の応募があった絵画展

町長 猪名川は川というものは本来人間がつくるものではなく、自然が作りあげたものを人間が利用しているという観点から取り組んでいます。自然の姿を知るため、部員の方々と一緒に探していきたいと思っています。そして、災害などにより崩れた護岸の工事を行うとき、どのような護岸工事を行うことが猪名川にとって一番良いか行政とともに話し合っています。

高岡 私は川と親しむ部会を担当しています。私は猪名川町で生まれ育ち、子ども時代から猪名川でたくさん釣りをし、魚を取ったりして遊ぶのが大好きでした。しかし、最近の子ども達は川に行かなくなってきました。川と親しむ部会としては、子ども達に足をとってしまわないように川にしたいと考えています。子どもには、まずは魚がたくさんいなければなりません。魚のいない川では何の楽しみもありません。清流を取り戻すとともに、昔のようにいろいろな魚を取り戻したいと思っています。

高岡 私達の子どもの時代の川は、川の周辺に砂か砂利が多く、近頃の川は、草や葎が生えて川に近づきにくくなっています。そのあたりの解消も大切だと思います。私達の時代は川で泳いだり魚を取ったり、川で怪我をしても先輩達に傷の手当てを覚えてもらったり、川で遊ぶ中であることを覚えてもらっていました。最近の子どもの場合は、安全な理由からなかなか川で遊ぶことができません。ちょっとかわいそうな部分があります。私達が子どもの頃は、夏などは川遊びをする子ども達がたくさんいて、道路沿いの川がにぎやかで、私自身も川に対して思い出たことがありません。今思えば川に育ててもらったんじゃないかなという感じがします。

高岡 私達の子どもの時代の川は、川の周辺に砂か砂利が多く、近頃の川は、草や葎が生えて川に近づきにくくなっています。そのあたりの解消も大切だと思います。私達の時代は川で泳いだり魚を取ったり、川で怪我をしても先輩達に傷の手当てを覚えてもらったり、川で遊ぶ中であることを覚えてもらっていました。最近の子どもの場合は、安全な理由からなかなか川で遊ぶことができません。ちょっとかわいそうな部分があります。ちょっとかわいそうな部分があります。ちょっとかわいそうな部分があります。



県立人と自然の博物館
豊富な資料を保有し、優れた研究者らが核となり活動する、国内有数の博物館。猪名川町とは平成18年3月に協力協定を結び、清流猪名川の実現にともに取り組んでいます。



川と水と人の部会 部長 奥西充彦さん

川と水と人の部会
猪名川流域の水環境（森林・農地）を含めた河川環境の改善に向けた運動を検討する部会。生活様式の見直しによる水環境への負担軽減などに取り組んでいます。

町長 現在の猪名川に比べて過去の猪名川はどんな川だったのでしょうか。私自身は大きな変化を感じるわけではありませんが、昔は子ども達が川で遊んで、魚が泳いでいて、川で遊ぶ子ども達の頃は、川での時間が毎日の生活のほとんどの部分だった感じがします。そこに山を利用した遊びの工夫をお互いしながら、楽しい思い出をつくりました。

町長 現在の猪名川に比べて過去の猪名川はどんな川だったのでしょうか。私自身は大きな変化を感じるわけではありませんが、昔は子ども達が川で遊んで、魚が泳いでいて、川で遊ぶ子ども達の頃は、川での時間が毎日の生活のほとんどの部分だった感じがします。そこに山を利用した遊びの工夫をお互いしながら、楽しい思い出をつくりました。

高岡 私達の子どもの時代の川は、川の周辺に砂か砂利が多く、近頃の川は、草や葎が生えて川に近づきにくくなっています。そのあたりの解消も大切だと思います。私達の時代は川で泳いだり魚を取ったり、川で怪我をしても先輩達に傷の手当てを覚えてもらったり、川で遊ぶ中であることを覚えてもらっていました。最近の子どもの場合は、安全な理由からなかなか川で遊ぶことができません。ちょっとかわいそうな部分があります。

奥西 昔は猫柳が生えていたのですが、今は葎がいついばいで川の流れが変わっています。田で使う化学肥料が川に流れ込み、葎が増殖しやすい環境になっています。川には、川に育つ魚や、川に育つ生き物がたくさんいます。川には、川に育つ魚や、川に育つ生き物がたくさんいます。川には、川に育つ魚や、川に育つ生き物がたくさんいます。

奥西 昔は猫柳が生えていたのですが、今は葎がいついばいで川の流れが変わっています。田で使う化学肥料が川に流れ込み、葎が増殖しやすい環境になっています。川には、川に育つ魚や、川に育つ生き物がたくさんいます。川には、川に育つ魚や、川に育つ生き物がたくさんいます。川には、川に育つ魚や、川に育つ生き物がたくさんいます。



川づくり部会 部長 奥村眞事さん

川づくり部会
自然環境の調査と清流猪名川を取り戻すための工法や整備などの川づくりについて検討する部会。各部会、関係団体と連絡調整しながら川づくりや河川美化に取り組んでいます。

町長 現在の社会環境から見て、今の子ども達には昔のような川との関わりができるかと思えば、かなり無理があるかと思う。しかし、少しでも川との関わりを設けて、自然から何を与えられているのか、どんな恵みを受けているのか、ということに気づいてほしいと考えています。自然を知ることが、子どもの犯罪防止につながったり、親子や友達・地域との関係、また防災への備えがその中から自然と学べると思います。

奥村 川は自然がつくったもので、そこへ人間の力をあまり加えず、自然と共生できるような川をつくることができると考えています。高岡 猪名川でホタルやオオサンショウウオをこれまで以上に見かけることができるようになれば、清流に戻った証明になるのではと考えています。この活動を通じて猪名川を阪神地域の多くの人に知ってもらいたい、足を運



町内の猪名川全域で見られるオオサンショウウオ

奥西 私達の部会では水生生物を指標とした水質基準をつくっていきたくと考えています。夏や秋、冬、猪名川の各所で調査を行っています。我々の部会だけでは不可能で、各小学校や中学校の専門の知識を持った先生に協力していただき、子ども達と一緒に活動していきたいと考えています。また、今後、森林の保全や荒廃農地・休耕地の活用、ため池などの問題に



川と親しむ部会 部長 高岡登さん

川と親しむ部会
川を知り、川に入り、親しむ運動を検討する部会。川と親しむための楽しく魅力づくりに取り組んでいます。